

令和元年度 第2回佐倉市行政評価懇話会

- 1 日 時 令和元年11月8日（金）14時00分～16時00分
- 2 会 場 佐倉市議会棟第三委員会室
- 3 議 事 まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について
評価対象：6施策（7指標）

（施策名：災害に備えた体制整備・支援）

- ・ 防災行政無線設置数【危機管理室】
- ・ 自主防災組織の団体数【危機管理室】

（施策名：企業誘致の推進）

- ・ 工業団地等において新規に誘致した企業数【産業振興課】

（施策名：観光客誘致のための取組みの実施）

- ・ イベント来場者満足度【産業振興課】

（施策名：歴史文化遺産を活かした来訪者の増加）

- ・ 旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の年間合計入館者数【文化課】

（施策名：転入促進や転出抑制につながる住宅施策の実施）

- ・ 空き家バンクの累計登録数【住宅課】

（施策名：良好な景観の地域づくりの推進）

- ・ 市民の景観団体への技術的支援【都市計画課】

- 4 その他
事務連絡等（事務局）

資料

- ・ 資料 1 内部評価の結果（総合戦略進捗管理シート）
- ・ 参考資料 佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及びKPI 動向一覧

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

資料 1

基本目標	4:将来にわたって住み続けたいと思える「まち」をつくります				評価年度	平成30年度		
施策名	(7)災害に備えた体制整備・支援				取りまとめ推進課	危機管理室		
					関連課	-		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線や防災井戸、防災備蓄倉庫などの防災・治水関連施設の整備を図ります。 ・災害による被害を最小限に抑えるため、自主防災組織や耐震診断など市民自身による災害への備えに対して支援を行います。 							
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況				
	防災行政無線設置数	108箇所 (平成26年度)	123箇所に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)
			達成率	108箇所	111箇所	111箇所	111箇所	155箇所 (見込み)
				0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	達成見込み
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、 原因・要因・理由を分析し評 価)	2022年度以降、アナログ放送が使えなくなることから、順次、防災行政無線のデジタル化を進めている。公募型プロポーザル方式により事業者を選定したことで、本市に適したシステム等の整備を行ったが、複数年の継続事業であるため評価が難しく目標達成には至らなかった。		改善策(又は今後の取組)・見込み	今後、防災行政無線111箇所のうち73箇所デジタル改修と、44箇所の新規設置をしていくことで、次年度(令和元年度)には目標を達成する見込み。			
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況				
	自主防災組織の団体数	99団体 (平成26年度)	124団体に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)
			達成率	102団体	108団体	112団体	113団体	116団体 (見込み)
				12.0%	24.0%	52.0%	56%	68%
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、 原因・要因・理由を分析し評 価)	既存の自主防災組織には、防災訓練や防災講話に職員を派遣し、支援を実施しているが、目標達成には至らなかった。自治会加入率の低下、近所との付き合いの希薄化、住民の負担感の増、自主防災組織の役割を自治会等が担っているなどが要因と考えられる。		改善策(又は今後の取組)・見込み	引き続き、地域の防災訓練に職員を派遣し防災意識の向上を図るなど、既存の自主防災組織を支援するとともに、地域での防災講演会などの場において自主防災組織の必要性を周知し、設立に向けたサポートを行っていく。			

具体的事業		取組状況
	①防災行政無線や防災井戸、防災備蓄倉庫などの防災・治水関連施設の整備	公募型プロポーザル方式により事業者を選定したことで、本市に適したシステム等の整備を行った。(平成30年度～31年度事業)
	②自主防災組織や耐震診断など市民自身による災害への備えに対する支援	①自主防災組織の実施する防災訓練や講話に参加。(職員派遣回数 41回) ②自主防災組織に対して助成金の交付や資機材の貸与を実施。(助成金交付件数 17団体) ③自主防災組織リーダー研修会の実施。(リーダー研修会の実施回数 1回)
内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)	「改善策」を推進	
行政評価懇話会の 検証結果	内部評価の検証結果	
	検証結果の理由	
	改善に向けた提言	

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

基本目標	1:産業経済の活性化を図り、佐倉に安定した「しごと」をつくります				評価年度	平成30年度		
施策名	(1)企業誘致の推進				取りまとめ推進課	産業振興課		
					関連課	-		
施策の内容	・地域経済を活性化させるとともに、人口の維持・増加につながる市民の安定した雇用を創出するため、市外からの立地企業に対する支援や市の誘致体制の整備等を図り、企業誘致を推進します。							
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況				
	工業団地等において 新規に誘致した企業数	-	新規5社以上 (5年間の累計)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)
			達成率	1社(累計1社)	1社(累計2社)	1社(累計3社)	0社(累計3社)	2社見込み (累計5社)
				20%	40%	60%	60%	達成見込み
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、 原因・要因・理由を分析し評 価)	圏央道等の開通による道路網の拡充や、成田空港の機能強化など、県内の交通インフラの充実によって、企業の立地優位性が向上している。このような外部環境による企業ニーズの増加に加え、企業誘致助成金制度の周知により、県内では着実に立地が進んだ。しかしながら、市内の工場適地が既に飽和状態であることから、達成率の向上には至らなかった。			改善策(又は今後の 取組)・見込み	市内の産業用地が既に飽和状態であることから、達成率の向上は難しいものの、民間活力による用地開発も含め、新たな産業用地の確保に向けて、検討を進めていく必要がある。(佐倉インターチェンジ周辺の高崎地区の一部(市街化調整区域、約20ha)において、産業用地(工場・倉庫等)として活用が可能となる地区計画の都市計画決定手続きを進めているところ。(決定は令和元年度予定)) また、本市は首都圏や成田空港に近く、鉄道や道路などのアクセス性にすぐれるため、工場や物流倉庫等の誘致だけでなく、IT関連企業やサテライトオフィスといったオフィス系企業の誘致についても可能性を検討したい。		
具体的事業 (平30)		取組状況						
	①市の立地条件や優位性、産業用地の条件等に関する情報発信とセールス活動の実施	企業立地に特化したホームページや、パンフレット「企業立地ガイド」による支援策等についての情報発信等によるセールス活動を実施した。(ちばりサーチパークにて3社の立地協議があった。)						
	②企業誘致助成制度の拡充／市庁内誘致体制整備	1. 平成24年9月に産業振興課内に整備した「企業支援ワンストップサポートデスク」において、18社からの相談対応を行った。 2. 年度末に不動産需給調査として、既存企業の事業用地に係るニーズの調査を実施した。						
	③企業誘致助成制度による工業団地や佐倉インターチェンジ周辺、国道51号沿い等における工場や流通業務施設等の誘致促進	1. 佐倉インターチェンジ周辺、国道51号沿い等の大半は市街化調整区域だが、平成26年度制定の「市街化調整区域における地区計画ガイドライン」に示される一定の要件・手続を満たすことにより工場等の建設可能区域とする地区計画を設定できることとなった。 2. 1. の制度を活用し、佐倉インターチェンジ周辺の高崎地区の一部(市街化調整区域、約20ha)において、産業用地(工場・倉庫等)として活用が可能となる地区計画の都市計画決定手続きを進めた(決定は平成31年度予定)。【平成30年度新規】 3. 地区計画関連について確認するため、公拡法(公有地の拡大の推進に関する法律)の届出等の大規模土地取得等に係る情報収集を行っている。						
	④新たな産業用地の開発に向けた調査及び検討	H28年度に地方創生加速化交付金を活用して実施した「起業支援・企業誘致ワンストップ化推進事業に係る基礎調査」の調査結果を踏まえ、千葉県土地開発公社等との意見交換を実施した。						
内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)	「改善策」を推進							
行政評価懇話会の 検証結果	内部評価の検証結果							
	検証結果の理由							
	改善に向けた提言							

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

基本目標	2:佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります					評価年度	平成30年度		
施策名	(2)観光客誘致のための取組みの実施					取りまとめ推進課	産業振興課		
						関連課	地域創生課		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・転入促進に加え、市を訪れる交流人口の増加、市の知名度やイメージの向上のため、各種メディアを活用して観光情報を発信するとともに、人々を惹きつける観光イベントなどを定期的・継続的に開催します。 ・花を活用したイベントを充実するとともに、印旛沼周辺地域の更なる魅力の向上を図ります。 								
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	イベント(チューリップフェスタ、時代まつり、佐倉城址のさくら、市民花火大会)来場者満足度(単純平均)	82.5% (平成26年度)	92.5%に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				82.0%	83.2%	83.2%	83.0%	86.7% (見込み)	
達成率	初期値を下回った	7%	7%	5%	42%				
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、原因・要因・理由を分析し評価)	「佐倉城址のさくら」や「チューリップフェスタ」において、開花が早すぎたため、イベント期間中に開花が持続せず、満足度が80%以下となったことがKPIを下げた要因と考えられる。		改善策(又は今後の取組)・見込み	内容の充実や効果的な運営に向けた見直しを行いながら、イベント開催等を行う。また、花のイベントは天候に大きく左右されることから、SNSを活用したきめ細かなでタイムリーな開花情報等の発信・周知に努め、来場者の不満軽減を図り、観光客の増加につなげ、KPIの達成率の向上に努める。				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	屋内・屋外公衆無線LAN設置基数 ※目標達成	—	13基 (平成27年度)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				13基	13基	13基	13基	13基 (見込み)	
達成率	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	観光入込客数(イベントを含む) ※昨年度評価実施済み	150万人 (平成26年)	180万人に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				158万8千人	155万4千人	136万8千人	156万0千人	128万8千人 (見込み)	
達成率	29.3%	18%	初期値を下回った	20%	初期値を下回った				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	印旛沼周辺観光施設(佐倉ふるさと広場・草ぶえの丘・サンセットヒルズ)来場者数 ※昨年度評価実施済み	47万人 (平成26年)	59万6千人に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				47万4千人	47万8千人	41万6千人	49万2千人	44万4千人 (見込み)	
達成率	3.1%	6.3%	初期値を下回った	17.4%	初期値を下回った				

<p>具体的事業</p>		<p>取組状況</p>
	<p>①観光案内所やインターネット、各種メディアを活用した観光情報(多言語によるものを含む)の発信</p>	<p>①日本遺産の多言語(6カ国7言語)パンフレット、リーフレットを観光案内所等において配布。 ②市内の主要観光拠点13箇所に設置した無料公衆無線LANの運用を実施。 ④観光情報サイト(LINEトラベルjp、全日空旅行サイト等)により情報発信を実施。 ⑤SNSを活用しての情報発信を実施。</p>
	<p>②観光イベントの開催や各種観光企画事業等に対する支援</p>	<p>下記の観光拠点地区で各種イベントを実施、又は交付金の助成等による支援を実施。 ①佐倉ふるさと広場:「チューリップフェスタ」、「市民花火大会」、「サイクルフェスタ」 ②佐倉城址公園:「佐倉城址のさくら」、「にわのわ(アート&クラフトフェア)」 ③城下町地区:「佐倉江戸時代まつり」、「佐倉の秋祭り」</p>
	<p>③花を活用したイベントの充実</p>	<p>①下記のイベントを実施。(・4月「佐倉城址のさくら」、「チューリップフェスタ」・7月「風車のヒマワリガーデン」・10月「コスモスフェスタ」) ②リピーターにも喜ばれるよう、チューリップフェスタの品種、色、植栽配置の見直しを行った。 ③市内の花めぐりマップを作成し、各種イベント時及び各観光施設にて情報を発信。</p>
	<p>④「印旛沼周辺地域の活性化推進プラン」に基づく印旛沼周辺地域の整備推進(印旛沼周辺における観光拠点の回遊性の向上を含む)</p>	<p>①観光船の運航を左記の3つのパターンで実施。(渡し運航(ふるさと広場棧橋～サンセットヒルズ下仮設棧橋、乗合運航(ふるさと広場でのイベント時のみ)、貸切船) ②印旛沼周辺4施設共通の観光案内版設置、パンフレット作成 ③佐倉ふるさと広場「佐蘭花」に庇を設置。</p>
	<p>⑤観光振興に関する調査及び事業の実施</p>	<p>北総観光連盟や日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会などの各種協議会で ①構成自治体や経済団体と情報交換を実施。 ②広域的な観光マップを作成。 ③国内外でのプロモーション事業に参加することにより、営業及び調査を実施。</p>
<p>⑥佐倉にゆかりのあるアニメ・漫画等を活用した観光客増加策の実施</p>	<p>アニメ・漫画「弱虫ペダル」とタイアップした北総観光連盟のサイクリングマップを、イベント等で配布した。</p>	
<p>内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)</p>	<p>「改善策」を推進</p>	
<p>行政評価懇話会の 検証結果</p>	<p>内部評価の検証結果</p>	
	<p>検証結果の理由</p>	
	<p>改善に向けた提言</p>	

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

基本目標	2:佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります				評価年度	平成30年度		
施策名	(3)歴史文化遺産を活かした来訪者の増加				取りまとめ推進課	文化課		
					関連課	産業振興課/公園緑地課		
施策の内容	・本市は、近隣市町の中でも、歴史文化遺産が豊富に存在しています。これらを資産として活用し周知するイベントなどを行い、佐倉市の知名度を高めるとともに、交流人口の増加を図ります。							
KPI (事業評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況				
	旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂 記念館の年間合計入館者数	43,351人 (平成26年度)	48,000人に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)
				48,517人	47,224人	43,895人	39,582人	42,000人 (見込み)
達成率	目標達成	83.3%	11.7%	初期値を下回った	初期値を下回る見込み			
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、 原因・要因・理由を分析し評 価)	新たに多様な年齢層を対象とした文化財施設での各種イベントや事業を実施したことから、認知度向上による撮影需要が増加し撮影使用料は増収(約2倍)したが、リピーター増加への取組対策や情報発信の効果が十分ではなかった可能性があることから、KPIは未達成となったと考えられる。		改善策(又は今後の取組)・見込み	引き続き多種多様なイベントを実施していくとともに、協力機関との連携により、海外からの観光客の増加やリピーターを醸成するための、文化財施設の魅力を外部に発信する新たな取り組みを実施することによって、入館者数を増加させKPIの達成率向上に努める。 また、撮影は施設の周知に有効であることから、引き続き、撮影関係のPRも実施していく。			
具体的事業 (平30)	取組状況							
	①歴史文化遺産を回遊できる事業の実施、誘致及び支援(新町周辺等)	①さくら庭園で音楽イベント(夜間公開)を1回、ヨガイベントを1回開催 ②旧堀田邸観月の夕べを開催(夜間公開・コンサート) ③文化財施設スタンプラリー(佐倉なごときにゃんさんぽ)を開催 ④時代まつり(産業振興課)に併せて甲冑試着会(1回)を開催 ⑤武家屋敷甲冑試着会の開催数増(平成27年度1回→平成30年度6回) ⑥にわのわちばアート&クラフト(実行委員会主催)、城下町きものさんぽ、コスプレイベント(城下町商店会主催)を支援 ⑦ドラマ・CM等の撮影支援、鉄道会社等のイベントを支援						
	②HP・リーフレット等を通じた「歴史のまち佐倉」の情報発信	①日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会参加PRイベント(日本遺産サミット、スカイツリー等)にて四市と共同でPR。 ②スカイツリーにおいて、兜・甲冑体験を通じた城下町佐倉のシティプロモーションを行った。						
内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)	「改善策」を推進							
行政評価懇話会の 検証結果	内部評価の検証結果							
	検証結果の理由							
	改善に向けた提言							

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

基本目標	2: 佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります					評価年度	平成30年度		
施策名	(6)転入促進や転出抑制につながる住宅施策の実施					取りまとめ推進課	住宅課		
						関連課	-		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・若者世帯等の市内への転入を促進するとともに、その市外への転出を抑制するため、また、子育て支援や高齢者の見守り支援のため、親世帯との同居・近居のための住み替えを支援します。 ・空き家の利活用を促進し、定住人口の増加を図るため、中古住宅のリフォームを支援するとともに、空き家情報を収集し、市内外へ発信します。 ・農家住宅への居住ニーズに対応した情報収集・発信により、農村部における人口減少の抑制に努めます。 								
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	空き家バンクの累計登録数	12件 (平成26年度)	132件に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				25件 (累計 37件)	21件 (累計 58件)	20件 (累計 78件)	18件 (累計 96件)	11件(10月末時点) (累計107件)	
達成率	20.8%	38.3%	55.0%	70%	81%				
KPI設定の 考え方・根拠	空き家の売買、賃貸を支援し、空き家の利活用を促進するための指標として設定。 達成率：((実績値(累計) - 初期値) / (目標値(累計) - 初期値)) × 100 ※行政評価懇話会からの意見書に基づき目標値・達成率の表記を統一させるため、一部表記を変更(実質的な変更はなし)								
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価	千葉県内の空き家バンクで、契約可能な物件登録数はNo.1である。現在の空き家バンクは購入や賃貸の希望者に紹介できる物件が15~20件、常に紹介できる状況であり、安定した運営が出来ている。 今までの取組により確立してきたノウハウによって、累計登録者数(KPIの達成率)は向上しているものの、新規の登録件数はほぼ横ばいとなっている。理由としては、空き家バンクの認知度は上がっているが、事業関係者(空き家バンクに興味を持っていた空き家所有者)の登録がある程度進んだことから、新規の登録数が増えなくなったことが考えられる。			改善策(又は今後の取組)・見込み	現状において、空き家バンクの周知に関しては、広報さくら、自治会回覧、地区への説明、各イベント時におけるブース設置など、可能な限り行っている状況。これ以上の周知を図る場合は、広告費等においてさらなるコストが必要になる可能性はあるが、自治会や市のイベント参加者への周知や、固定資産税の納税通知書を活用した制度の周知など、さらなる周知に努める。 登録数を増やすためには、現在行っている月2回、週末に行っている空き家案内の対応回数を増やすことが、制度の周知や空き家所有者へのアプローチとして有効であると考えられるが、その活動をさらに充実させるには、職員の負担が懸念され、現状の人員配置では難しい状況。			
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	若者世帯等の親との近居・同居の住み替え支援件数 ※目標達成	-	30件 (5年間の累計)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				0件	14件 (累計14件)	55件 (累計69件)	84件 (累計153件)	110件(10月末時点) (累計263件)	
達成率	0%	46.7%	目標達成	目標達成	目標達成				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	中古住宅リフォーム支援事業実績数 ※目標達成	-	117件 (5年間の累計)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				13件 (累計13件)	15件 (累計28件)	52件 (累計80件)	52件 (累計132件)	63件(10月末時点) (累計195件)	
達成率	11.1%	23.9%	68.4%	目標達成	目標達成				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	空き家バンクのマッチング数(案内件数) ※目標達成	36件 (平成26年度)	236件に増加	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
				64件(累計100件)	98件(累計198件)	85件(累計283件)	55件(累計338件)	27件(10月末時点) (365件)	
達成率	32.0%	81.0%	目標達成	目標達成	目標達成				
具体的事業 (平30)	取組状況								
	①若者世帯等の親との近居・同居の住み替え支援	①広報さくら、ホームページ等により事業の啓発を行った。 予算額(42,500千円:85件分)のうち(42,000千円:84件分)執行し、市内から48世帯、市外から36世帯の移住があった。							
	②中古住宅リフォーム支援事業	①広報さくら、ホームページ等により事業の啓発を行った。 ②空家バンクとの連携を図った。 予算額(25,302千円:52件分)のうち(25,302千円:52件分)執行し、市内から23世帯、市外から29世帯の移住があった。							
	③空き家等を活用した移住者支援	①広報さくら、自治会回覧、地区への説明、各イベント時におけるブース設置等により空き家バンク事業の啓発を行った。 26年度からの累計で、物件登録96件、利用者登録338件、契約成立数54件(市内移住者22件、市外移住者32件)となり、一定の実績があった。							

内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)	「改善策」を推進	
行政評価懇話会の 検証結果	内部評価の検証結果	
	検証結果の理由	
	改善に向けた提言	

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

基本目標	2:佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります				評価年度	平成30年度			
施策名	(8)良好な景観の地域づくりの推進				取りまとめ推進課	都市計画課			
					関連課	-			
施策の内容	・「佐倉市のイメージ」を高め、定住・交流人口の増加を図るため、豊かなみどりや歴史・文化を活かした、佐倉の個性あふれる景観の形成を進めます。								
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	市民の景観団体への技術的支援	1団体/年 (平成26年度)	2団体/年 (累計11団体)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
			達成率	10%	20%	30%	40%	50%	
KPI達成状況の検証 (平30)	要因分析・評価 (背景や取組状況を踏まえ、 原因・要因・理由を分析し評価)	新町地区景観形成協議会への技術的支援を実施。 景観計画の周知・啓発に努め、地元協議会の運営を支援することで、景観形成への理解を深め、持続的な協議会の活動へと繋げたため、目標には至っていないものの達成率は向上した。		改善策(又は今後の取組)・見込み	引き続き、景観計画の周知・啓発に努め、協議会の景観形成への取り組みを支援していく。				
KPI (重要業績評価指標)	指標名	初期値	目標値	達成状況					
	景観形成重点区域の指定数 ※目標達成	-	1区域	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(31年度)	
			達成率	0%	0%	目標達成	目標達成	目標達成	
具体的事業	取組状況								
	①景観に関わる情報交流・情報発信の推進	景観計画に基づく届出制度の運用を開始し、景観形成基準への適合について誘導を行った。 屋外広告物条例に基づき、景観に影響を与える屋外広告物について、違反事業者には制度説明を行い、是正を促した。							
	②良好な景観づくりの取組みに対する支援	地元住民等で構成される新町地区景観形成協議会の会議開催を事務局として支援した。							
内部評価結果 (令和元年7月17日 行政評価委員会)	「改善策」を推進								
行政評価懇話会の 検証結果	内部評価の検証結果								
	検証結果の理由								
	改善に向けた提言								

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及びKPIの動向一覧

【参考資料】

1 数値目標

4つの基本目標ごとに5年後（平成31年度）の数値目標を設定

◆A目標達成：目標値を上回った ◆B順調：達成率が80%以上 ◆C進展：初期値は上回った ◆D進展せず：初期値以下

基本目標	No.	数値目標						達成率 (H30)	進捗状況 (H30)	(参考)平29 評価対象	
		指標名	初期値	目標値	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)				実績値 (H30)
1：産業経済の活性化を図り、佐倉に安定した「しごと」をつくります	1	市内法人数	3,208法人（平成26年度）	平成26年度比5%増加 (3,368法人)	3,245法人	3,327法人	3,340法人	3,377法人	目標達成	A目標達成	
	2	耕作放棄地面積	201ha（平成26年度）	平成26年度より減少	214ha	205ha	227ha	221ha	初期値以下	D進展せず	○
2：佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります	3	転入超過数	348人（平成26年）	856人に増加	▲37人	281人	182人	209人	初期値以下	D進展せず	○
	4	観光入込客数（イベントを除く）	89万人（平成26年）	105万人に増加	99万人	97万人	84万人	95万人	37.5%	C進展	○
3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えます	5	合計特殊出生率	1.19人（平成25年）	1.29人に増加	1.26	1.14	1.15	未確定	初期値以下	D進展せず	○
	6	年少人口（0～14歳）	21,210人 (H27.3.31時点)	維持	21,210人 (H27.3.31時点)	21,002人 (H28.3.31時点)	20,622人 (H29.3.31時点)	20,399人 (H30.3.31時点)	初期値以下	D進展せず	○
4：将来にわたって安心・安全に暮らせる「まち」をつくります	7	アンケートにおいて今後も佐倉に住みたいと答えた人の割合	64.7%（平成26年度）	70%に増加	64.8%	85.0%	83.2%	85.1%	目標達成	A目標達成	

佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及びKPIの動向一覧

2 重要業績評価指標 (KPI:Key Performance Indicator)

・具体的施策ごとに5年後の目標値を設定

◆A目標達成:目標値を上回った ◆B順調:達成率が80%以上 ◆C進展:初期値を上回った ◆D進展せず:初期値以下

基本目標	具体的施策	指標No.	重要業績評価指標(KPI)						KPI達成率(H30)	進捗状況(H30)	(参考)平29評価対象	
			指標名	初期値	目標値	実績値(H27年度)	実績値(H28年度)	実績値(H29年度)				実績値(H30年度)
1:産業経済の活性化を図り、佐倉に安定した「しごと」をつくります	(1)企業誘致の推進	1	工業団地等において新規に誘致した企業数	-	新規5社以上(5年間の累計)	1社(累計1社)	1社(累計2社)	1社(累計3社)	0社(累計3社)	60%	C進展	
	(2)既存企業の新たな展開の促進	2	市の助成を受け再投資した企業数	-	新規3社以上(5年間の累計)	2社(累計2社)	3社(累計5社)	2社(累計7社)	0社(累計7社)	目標達成	A目標達成	
	(3)起業の促進	3	佐倉起業塾(入門編・実践編)を経て新たに起業した人数	1人(平成26年度)	6人以上に増加	4人(累計5人)	9人(累計14人)	12人(累計26人)	13人(累計39人)	目標達成	A目標達成	
		4	「商店街空き店舗等出店促進補助金」を活用して起業した件数	-	5件以上(5年間の累計)	1件(累計1件)	2件(累計3件)	3件(累計6件)	3件(累計9件)	目標達成	A目標達成	
	(4)市内雇用拡大・就業支援	5	企業誘致助成制度の活用による市内雇用人数	-	50人(5年間の累計)	24人(累計24人)	1人(累計25人)	31人(累計56人)	18人(累計74人)	目標達成	A目標達成	
		6	子育てお母さんの再就職支援セミナー参加者数	11人(平成26年度)	51人以上(累計)に増加※3回開催	10人(累計21人)	10人(累計31人)	18人(累計49人)	5人(累計54人)	目標達成	A目標達成	
		7	中高年対象就業セミナー参加者数	15人(平成25年度)	65人以上(累計)※3回開催	未開催	14人(累計29人)	23人(累計52人)	9人(累計61人)	92%	B順調	
	(5)6次産業化の取組みの推進	8	総合化事業計画の件数	1件(平成26年度)	2件(累計)に増加	1件(累計2件)	0件(累計2件)	0件(累計2件)	0件(累計2件)	目標達成	A目標達成	
		9	6次産業化事業支援件数	13件(平成26年度)	28件(累計)に増加	1件(累計14件)	3件(累計17件)	4件(累計21件)	4件(累計25件)	89.2%	B順調	
	(6)農業経営の安定強化	10	農地利用集積面積	289ha(平成26年度)	350haに増加	337ha	352ha	377ha	414ha	目標達成	A目標達成	
		11	効率化・低コスト化支援件数	6件/年(平成26年度)	36件に増加	5件/年(累計11件)	15件/年(累計26件)	20件/年(累計46件)	16件/年(累計62件)	目標達成	A目標達成	
		12	飼料用米の作付面積	56.6ha(平成26年度)	100haに増加	132ha	125.9ha	115.7ha	101.7ha	目標達成	A目標達成	
		13	WCS(稲発酵粗飼料用稲)の作付面積	4.4ha(平成26年度)	25haに増加	24.5ha	51.6ha	75.9ha	79.8ha	目標達成	A目標達成	
	(7)担い手の育成支援	14	新規就農者数	19人(平成26年度)	34人に増加	21人(累計)	29人(累計)	35人(累計)	44人(累計)	目標達成	A目標達成	
		15	認定農業者件数	111件(平成26年度)	120件に増加	118件(累計)	118件(累計)	122件(累計)	124件(累計)	目標達成	A目標達成	
2:佐倉の魅力を発信し、新しい「ひと」の流れをつくります	(1)シティプロモーションの推進	16	定住について具体的な相談に入っている者数	-	10人/年(累計50人)	37人/年(累計37人)	62人/年(累計99人)	57人/年(累計156人)	34人/年(累計190人)	目標達成	A目標達成	
		17	佐倉フィルムコミッションによるロケ受入件数	25件/年(平成26年度)	50件/年に増加	25件/年	25件/年	41件/年	63件/年	目標達成	A目標達成	
	(2)観光客誘致のための取組みの実施	18	屋内・屋外公衆無線LAN設置基数	-	13基(平成27年度)	13基(平成27年度)	整備完了済み	整備完了済み	整備完了済み	目標達成	A目標達成	
		19	観光入込客数(イベントを含む)	150万人(平成26年)	180万人に増加	158万8千人	155万4千人	136万8千人	156万0千人	20%	C進展	○
		20	イベント(チューリップフェスタ、時代まつり、佐倉城址のさくら、市民花火大会)来場者満足度(単純平均)	82.5%(平成26年度)	92.5%に増加	82.0%	83.2%	83.2%	83.0%	5%	C進展	
		21	印旛沼周辺観光施設(佐倉ふるさと広場・草ぶえの丘・サンセットヒルズ)来場者数	47万人(平成26年度)	59万6千人に増加	47万4千人	47万8千人	41万6千人	49万2千人	17.4%	C進展	○
	(3)歴史文化遺産を活かした来訪者の増加	22	旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の年間合計入館者数	43,351人(平成26年度)	48,000人に増加	48,517人	47,224人	43,895人	39,582人	初期値を下回った	D進展せず	
	(4)都市と農村の交流促進	23	草ぶえの丘利用者数	116,251人(平成26年度)	150,000人に増加	138,304人	141,036人	93,226人	115,053人	初期値を下回った	D進展せず	○
	(5)スポーツを活用した活性化の推進	24	長嶋茂雄少年野球教室の観覧数	1,000人(平成26年度)	1,100人/年に増加	620人	1,200人	1,200人	1,200人	目標達成	A目標達成	
		25	佐倉朝日健康マラソン大会申込者数	12,697人(平成26年)	13,000人(維持)	13,012人	13,109人	12,290人	13,033人	目標達成	A目標達成	○
26		ブラインドサッカーの試合が行える環境整備	-	コート1面(平成27年度)	整備完了済み	整備完了済み	整備完了済み	整備完了済み	目標達成	A目標達成		
27		ブラインドサッカーに係るイベントへの参加者数	-	400人(5年間の累計)	未実施	192人(累計192人)	393人(累計585人)	329人(累計914人)	目標達成	A目標達成		

基本目標	具体的施策	指標No.	重要業績評価指標 (KPI)						KPI達成率 (H30)	進捗状況 (H30)	(参考) 平29評価対象	
			指標名	初期値	目標値	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)				実績値 (H30年度)
	(6)転入促進や転出抑制につながる住宅施策の実施	28	若者世帯等の親との近居・同居の住み替え支援件数	-	30件(5年間の累計)	0件	14件(累計14件)	55件(累計69件)	84件(累計153件)	目標達成	A目標達成	
		29	中古住宅リフォーム支援事業実績数	-	117件(5年間の累計)	13件(累計13件)	15件(累計28件)	52件(累計80件)	52件(累計132件)	目標達成	A目標達成	
		30	空き家バンクの累計登録数	12件(平成26年度)	132件に増加	25件(累計37件)	21件(累計58件)	20件(累計78件)	18件(累計96件)	70%	C進展	
		31	空き家バンクのマッチング数	36件(平成26年度)	236件に増加	64件(累計100件)	98件(累計198件)	85件(累計283件)	55件(累計338件)	目標達成	A目標達成	
	(7)地域毎の課題に応じた住宅施策の実施	32	団地再生モデル事業に取り組んでいる団地数	-	3団地	0団地	3団地	3団地	3団地	目標達成	A目標達成	
	(8)良好な景観の地域づくりの推進	33	景観形成重点区域の指定数	-	1区域	0区域	0区域	1区域(累計1区域)	1区域(累計1区域)	目標達成	A目標達成	
		34	市民の景観団体への技術的支援	1団体/年(平成26年度)	2団体/年(累計11団体)	1団体(累計2団体)	1団体(累計3団体)	1団体(累計4団体)	1団体(累計5団体)	40%	C進展	
	3:若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えます	(1)若い世代の経済的安定と結婚支援	35	婚活イベントでの累計成婚数	11組(平成26年度)	15組に増加	1組(累計12組)	1組(累計13組)	1組(累計14組)	2組(累計16組)	目標達成	A目標達成
36			若者対象就業セミナー参加者数	8人(平成26年度)	30人以上(5年間の累計)※3回開催	13人(累計21人)	6人(累計27人)	9人(累計36人)	5人(累計41人)	目標達成	A目標達成	
(2)出産や子育てに対する支援		37	こども総合窓口の整備	-	1か所(平成27年度)	1か所	整備完了済み	整備完了済み	整備完了済み	目標達成	A目標達成	
		38	窓口サービスに満足している子育て世帯の割合	26.6%(平成26年度)	50%以上に増加	未実施	31.7%	未実施	73.3%	目標達成	A目標達成	
		39	安心して子どもを産み育てられるままと感じる者の割合	-	50%以上	47.0%	48.6%	43.9%	47.5%	95%	B順調	
(3)保育園待機児童の解消		40	保育園待機児童数	34人(H27.4.1時点)	0人	41人	0人	15人	29人	14.71%	C進展	
(4)安心して子育てできる地域づくり		41	安心して子どもを産み育てられるままと感じる者の割合(再掲)	-	50%以上	47.0%	48.6%	43.9%	47.5%	95%	B順調	
		42	助産師災害活動用必要物品の充足率	0%(平成26年度)	100%	100%	100%	100%]	目標達成	A目標達成	
		43	ファミリーサポートセンター事業における提供会員数	134人(平成26年度)	260人に増加	169人	184人	183人	157人	18.3%	C進展	
(5)地域の特色を活かした教育の推進		44	教育課程に位置づけて佐倉学に取り組んでいる市内小中学校の率	100%(34校/34校)(平成26年度)	100%(34校/34校)を維持	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	目標達成	A目標達成	
	45	自校式給食を活用して食育を推進している市内小中学校の率	100%(34校/34校)(平成26年度)	100%(34校/34校)を継続	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	100%(34校/34校)	目標達成	A目標達成		
4:将来にわたって安心・安全に暮らせる「まち」をつくります	(1)高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる体制整備	46	在宅医療・介護の連携ができている機関の割合	61.9%(平成26年度)	95%に増加	未調査	未調査	51.0%(医療機関及び介護機関の調査)	52.0%(医療機関のみの調査)	初期値を下回った	D進展せず	○
		47	介護予防事業の認知度	25.1%(平成26年度)	50%に増加	22.7%	20.1%	30.8%	27.4%	9.2%	C進展	
		48	地域包括支援センターの認知度	38.6%(平成26年度)	50%に増加	42.8%	43.0%	44.2%	62.1%	目標達成	A目標達成	
		49	認知症サポーター数(認知症サポーター養成講座の累計受講者数)	11,795人(平成26年度)	20,000人に増加	14,165人	16,676人	18,455人	20,057人	目標達成	A目標達成	
	(2)「健康のまち佐倉」の推進	50	胃がん検診の受診率	26.4%(平成26年度)	50%に増加	27.1%(12.9%)	25.7%(12.1%)	23.5%(12.0%)	23.3%(11.8%)	初期値を下回った	D進展せず	○
		51	大腸がん検診の受診率	32.1%(平成26年度)	50%に増加	34.8%(16.5%)	33.0%(15.6%)	29.8%(15.2%)	30.4%(15.4%)	初期値を下回った	D進展せず	○
		52	肺がん検診の受診率	35.0%(平成26年度)	50%に増加	36.3%(17.3%)	35.6%(16.8%)	32.5%(16.6%)	33.4%(16.9%)	初期値を下回った	D進展せず	○
		53	子宮頸がん検診の受診率	19.9%(平成26年度)	50%に増加	21.1%(5.8%)	17.7%(4.8%)	18.6%(5.1%)	19.1%(5.3%)	初期値を下回った	D進展せず	○
		54	乳がん検診の受診率	18.2%(平成26年度)	50%に増加	19.6%(11.1%)	20.3%(11.5%)	19.8%(11.4%)	19.9%(11.5%)	初期値を下回った	D進展せず	○
		55	特定健診の受診率	31.9%(平成26年度暫定値)	60%に増加	33.2%	33.6%	34.2%	35.7%	13.5%	C進展	
		56	特定保健指導の実施率	26.5%(平成25年度)	60%に増加	16.1%	16.8%	13.9%	22.9%(暫定値)	初期値を下回った	D進展せず	○
	57	人間ドックの実施率	2.4%(平成26年度)	3.4%に増加	2.7%	3.1%	3.3%	3.7%	目標達成	A目標達成		

基本目標	具体的施策	指標No.	重要業績評価指標 (KPI)						KPI達成率 (H30)	進捗状況 (H30)	(参考) 平29評価対象	
			指標名	初期値	目標値	実績値 (H27年度)	実績値 (H28年度)	実績値 (H29年度)				実績値 (H30年度)
	(3)地域のまちづくり・コミュニティ活動の環境整備	58	生活習慣病予防健康教育累計実施回数	192回(平成26年度)	200回に増加	203回	172回	163回	152回	初期値を下回った	D進展せず	○
		59	自治会・町内会への加入率	72.1%(平成26年度)	75%	71.9%	71.6%	70.9%	69.9%	初期値を下回った	D進展せず	○
		60	佐倉市市民公益活動サポートセンターへの登録団体数	166団体(平成26年度)	200団体	174団体	171団体	181団体	179団体	35.3%	C進展	
		61	地域まちづくり事業実施団体(旧まちづくり協議会)の設立数	11団体(平成26年度)	22団体	13団体	14団体	14団体	14団体	27.3%	C進展	
	(4)市民の学習・文化活動の支援推進	62	公民館・図書館・音楽ホール・美術館・コミュニティセンターの利用者延総数	113万人(平成26年度)	120万人に増加	118万人	110万人	108万人	102万人	初期値を下回った	D進展せず	○
		63	協定を締結している大学等との協働事業数	82事業/年(平成26年度)	100事業/年に増加	97事業/年	99事業/年	104事業/年	122事業/年	目標達成	A目標達成	
	(5)地域にあった交通手段の確保	64	新たな交通手段が確保される地区の数	3地区(平成26年度)	7地区に増加	3地区	3地区	7地区	7地区	目標達成	A目標達成	
		65	確保されている民間バス路線数	15路線(平成26年度)	15路線を維持	15路線を維持	15路線	15路線	15路線	目標達成	A目標達成	
	(6)鉄道駅周辺の都市機能に関する検討	66	検討を行った鉄道駅数	-	5駅	5駅	5駅	5駅	5駅	目標達成	A目標達成	
	(7)災害に備えた体制整備・支援	67	防災行政無線設置数	108箇所(平成26年度)	123箇所に増加	108箇所	111箇所	111箇所	111箇所	20.0%	C進展	
		68	自主防災組織の団体数	99団体(平成26年度)	124団体に増加	102団体	108団体	112団体	113団体	56.0%	C進展	
	(8)農業の多面的機能の維持保全活動の推進	69	活動を実施する地区数	10地区(平成26年度)	15地区に増加	11地区	16地区	20地区	23地区	目標達成	A目標達成	
		70	活動を実施する協定面積	276.3ha(平成26年度)	405.67haに増加	286.67ha	471.78ha	570.78ha	632.58ha	目標達成	A目標達成	
	(9)市南部地域対策の推進	71	和田地区の人口	1,957人(H27.3.31時点)	維持	1,953人	1,913人	1,852人	1,816人	初期値を下回った	D進展せず	○
72		弥富地区の人口	1,655人(H27.3.31時点)	維持	1,615人	1,581人	1,540人	1,532人	初期値を下回った	D進展せず	○	

※各種がん検診について:平28年度より各種がん検診受診率の算定に用いられる対象者が変更になったことから、変更後の基準に計算した受診率を()内に記載。

《KPI進捗状況》

	平30実績		(参考) 平29実績
A目標達成	40	55.6%	43.0%
B順調	4	5.6%	15.2%
C進展	14	19.4%	20.8%
小計(ABC)	58	80.6%	79%
D進展せず	14	19.4%	21%
合計	72	100.0%	100.0%